

別紙

「東アジア人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス」(通称:日中韓キャンパスアジア・プログラム)は、立命館大学(日本/京都)、東西大学校(韓国/釜山)、広東外語外貿大学(中国/広州)の三大学が共同運営する4年一貫のプログラムです。平成23年度から27年度に実施したキャンパスアジア・パイロットプログラムを基礎とし、京都・釜山・広州という歴史ある3都市において、日中韓伝統文化と現代文化に通じた、高いコミュニケーション能力を有する人材の育成と、日中韓次世代リーダーのネットワークを構築することを目標としています。



【高度化したキャンパスアジア・プログラム】

- 1 交流学生数の増加
- 2 留学期間の長期化
- 3 東アジア人文学専門講義の多様化
- 4 教育効果の専門的分析と可視化
- 5 安定した運営体制下で拡大事業の評価・改善

【移動の流れ/カリキュラム】



本事業の成果

【人材育成目的】

東アジア人文学リーダー

- 実務的な中国語・朝鮮語の語学力
- 多文化間調整が可能なコミュニケーション能力と判断力
- 東アジア人文学の専門的知識と分析力

多様な場で多文化協働を率先できる人材へ

